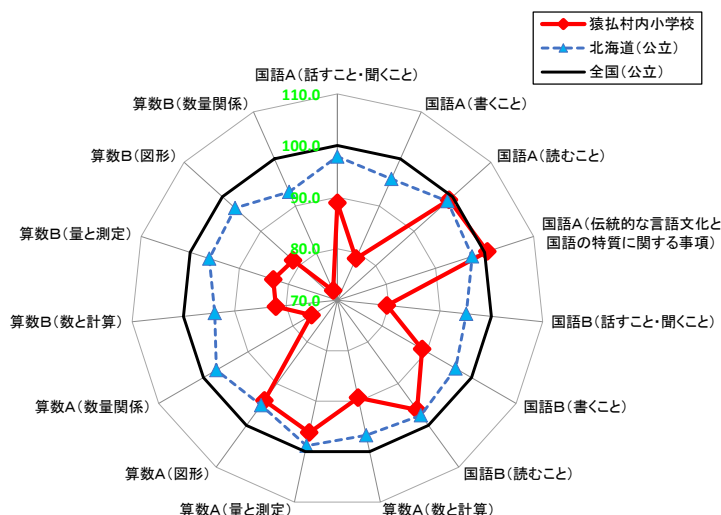


■猿払村内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5、児童数:27名)

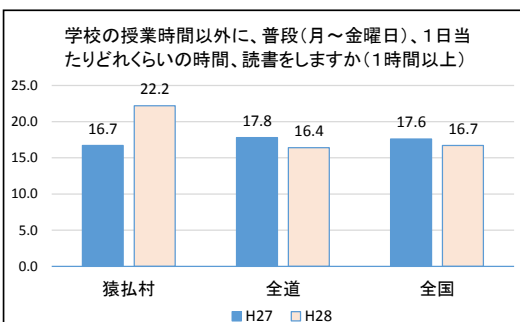
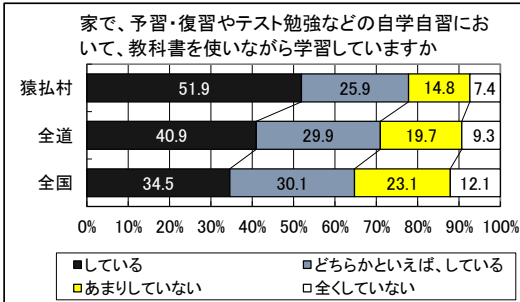
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

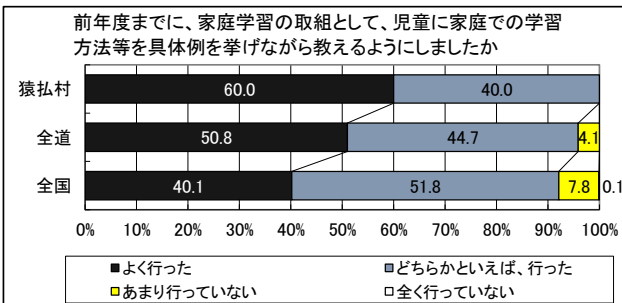
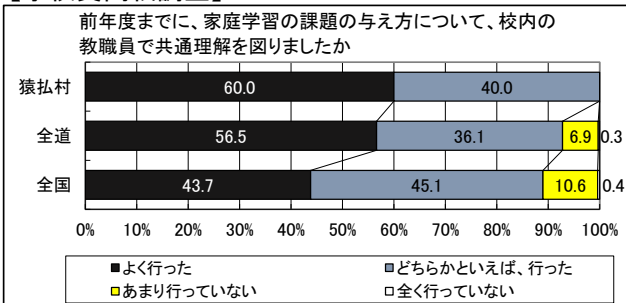
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国を上回っている。	○ 漢字や計算等を中心とした家庭学習の課題の与え方や学習方法等について、教職員の共通理解を図り、全校体制で取組を進めたことにより、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか」という質問に、「している」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問に、「1時間以上」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 教育委員会として、「家庭学習の手引」を作成・配付するなど、生活習慣・学習習慣の確立の取組を推進したことにより、普段の生活で1時間以上読書をするという回答した児童の割合が、増えたと考えられる。
学校質問紙	○ 「前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか」という質問に、「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか」という質問に、「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【猿払村の学力向上策】

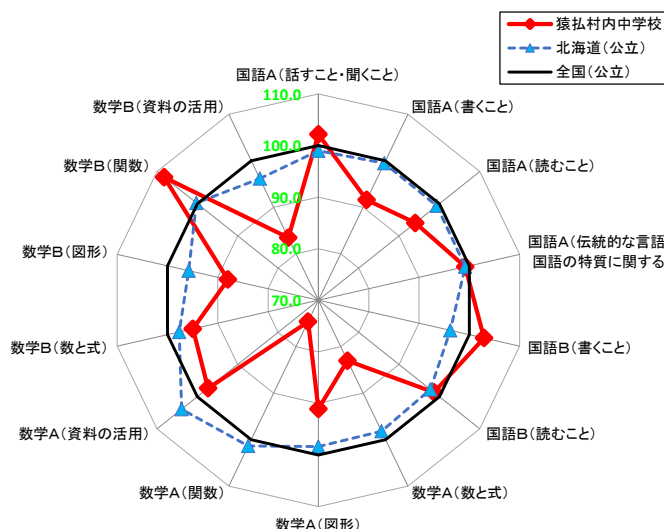
- ◎ 地域素材の教材化や人材を活用した体験的な活動の充実
- ◎ 「統一問題集」と「家庭学習の手引」による生活習慣・学習習慣の確立
- ◎ 猿払村教育研究会と連携した公開授業の実施

■猿払村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:30名)

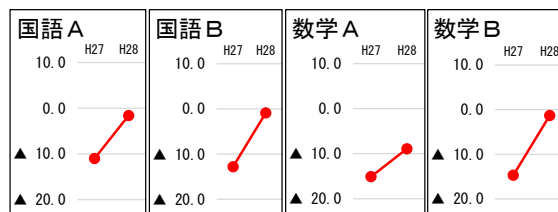
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

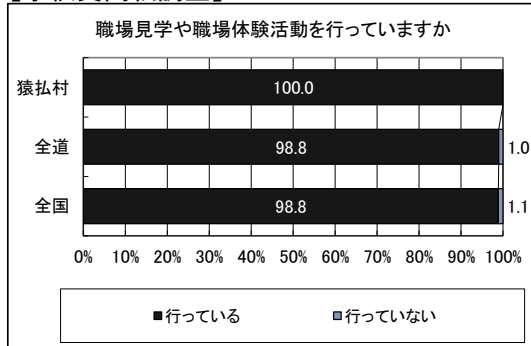


【平均正答率の全国との差の推移】

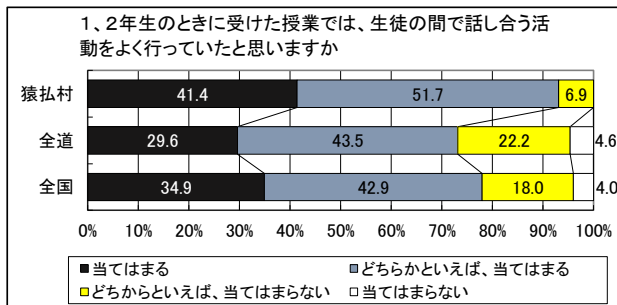
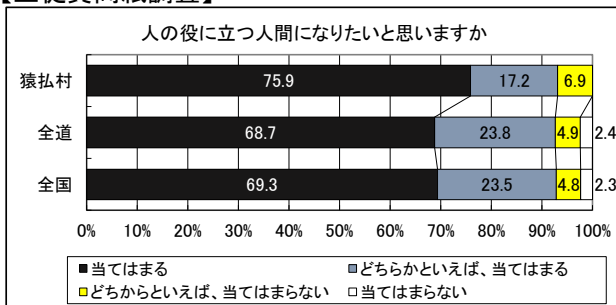


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、国語Bでは「書くこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学Bでは「関数」で、全国を上回っている。 ○ 平均正答率の全国との差の推移では、すべての教科で、前年度を上回っている。	○ 国語の指導事項を踏まえ、各教科等で前年度までに、生徒の間で話し合う活動をよく行ったことにより、国語Aの「話すこと・聞くこと」で、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 進路指導の計画を見直すとともに、職場見学や職場体験活動を行ったことにより、自分にできることを見つめることにつながり、人の役に立つ人間になりたいと思うと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「職場見学や職場体験活動を行っていますか」という質問に、「行っている」と回答している。	

【猿払村の学力向上策】

- ◎ 地域素材の教材化や人材を活用した体験的な活動の充実
- ◎ 「統一問題集」と「家庭学習の手引」による生活習慣・学習習慣の確立
- ◎ 猿払村教育研究会と連携した公開授業の実施